

タイガシル点滴静注用50mg

【この薬は？】

販売名	タイガシル点滴静注用50mg Tygacil Injection 50mg
一般名	チゲサイクリン Tigecycline
含有量 (1バイアル中)	50mg (調製時の採取量を考慮して1バイアル中53mgを含む)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、グリシルサイクリン系抗生物質製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる細菌の蛋白質の合成を妨げることにより、細菌の増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎

<適応菌種>

本剤に感性の大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、アシネトバクター属

ただし、他の抗菌薬に耐性を示した菌株に限る

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にタイガシル点滴静注用に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去にテトラサイクリン系抗生物質で過敏症のあった人（過去にタイガシル点滴静注用で過敏症のあった人を除く）
- ・肝臓に重い障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○過去に抗生物質等でアレルギーをおこしたことがある人は、必ず医師または薬剤師に伝えてください。

【この薬の使い方は？】

- ・この薬は注射薬です。

●使用量および回数

- ・使用量、使用回数等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。
- ・通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

一回量	初回：100mgを30～60分かけて点滴静脈内投与 2回目以降：50mgを30～60分かけて点滴静脈内投与
使用回数	1日2回

- ・肝臓に重い障害のある人は、初回100mgを投与した後、2回目からは25mgに減らすなどすることがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の危険性や治療における役割について、患者さんや家族の方は、十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・急性膵炎（吐き気、嘔吐（おうと）、激しい上腹部の痛み、背中への痛み、お腹にあざができる、お腹が張る）があらわれることがあります。腹痛、嘔吐などの症状があらわれた場合には、医師に連絡してください。
- ・悪心（吐き気）・嘔吐が高頻度であられ、投与が中止されることもあります。これらの症状があらわれた場合には、医師に連絡してください。
- ・AST、ALTの上昇を伴う肝障害、黄疸があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・小児（特に8歳未満の小児）が使用した場合、歯の着色・エナメル質形成不全や一過性の骨の発育不全をおこすことがあります。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
重篤な肝障害 じゅうとくなかんしょうがい	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、意識の低下
血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中への痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
偽膜性大腸炎 ぎまくせいだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンスージョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、体がだるい、体がかゆくなる、急激に体重が増える、出血が止まりにくい、発熱
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、頭痛
顔面	顔面蒼白、鼻血

部位	自覚症状
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	喉のかゆみ、吐き気、血を吐く、歯ぐきの出血、嘔吐、唇や口内のただれ
胸部	動悸、息苦しい
腹部	食欲不振、お腹が張る、激しい上腹部の痛み、腹痛
背中	背中での痛み
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、お腹にあざができる、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

容器の形状	
性状	だいたい色の塊または粉末（凍結乾燥製剤）

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	チゲサイクリン
添加剤	乳糖水和物 100mg（調製時の採取量を考慮して1バイアル中106mgを含む） pH調節剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

製品情報センター（患者さん・一般の方）

電話　　： 0 1 2 0 － 9 6 5 － 4 8 5

F A X　　： 0 3 － 3 3 7 9 － 3 0 5 3

受付時間：月～金　9時～17時30分

（土日祝祭日および弊社休業日を除く）